

とねまち 議会だより

あなたと議会をむすぶ広報誌



夏 利根（光龍会 吉井恵美子氏 制作）

6月定例会

No. 103

2008.8.28

平成20年第2回定例会 議事概要	2
一般質問	3
岩佐議長，県町村議会議長会会長に就任	7
お知らせ	7
「場外馬券売り場誘致中止・撤回請願」賛成・反対討論	8
利根町議会日誌（平成20年5・6・7月）	14

平成20年 第2回利根町議会定例会 議事概要

会 期 平成20年6月6日（金）～ 6月16日（月）

ただし、開催期間中、議案調査等で休会日もありました。

議会傍聴者数 議会定例会開催期間中の傍聴者数は延べ148名です。

審議議案等 21件とその審議結果（行頭の数字は議案番号 *印は賛否の討論のあった案件）

町長提出議案

- | | | |
|-----|---|---------|
| 38 | 利根町税条例の一部を改正する条例の専決処分について | 全員承認 |
| 39 | 利根町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分について | 全員承認 |
| 40 | 平成19年度利根町一般会計補正予算（第6号）専決処分について | 全員承認 |
| 41 | 平成19年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）
専決処分について | 全員承認 |
| 42 | 利根町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 全員賛成で可決 |
| 43 | 利根町廃棄物減量等推進審議会条例 | 賛成多数で可決 |
| *44 | 利根町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する
条例の一部を改正する条例 | 賛成多数で可決 |
| 45 | 営農資金借入利子補給条例の一部を改正する条例 | 全員賛成で可決 |
| 46 | 利根町農業災害経営資金利子補給及び損失補償条例の一部を改正
する条例 | 全員賛成で可決 |
| 47 | 平成20年度利根町一般会計補正予算（第1号） | 賛成多数で可決 |
| 48 | 平成20年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | 全員賛成で可決 |
| 49 | 平成20年度利根町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） | 全員賛成で可決 |
| 50 | 利根町教育委員会委員の任命について | 全員同意 |

請 願

- *請願5・6 場外馬券売り場誘致の中止・撤回を求める請願（一括審議） 賛成多数で採択

動議案件（議員提出）

- | | | |
|---|---|---------|
| * | 利根町議会議員・守谷貞明君問責決議の件（佐々木議員提出） | 賛成多数で可決 |
| * | 請願第5号及び請願第6号についての会期を6月16日まで
4日間延長することの動議（白旗議員提出） | 賛成多数で可決 |
| | 守谷議員に対する問責決議可決のその後を問うの件（佐々木議員提出） | 賛成多数で可決 |

追加議案（議員提出）

- 議員7 長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の改善を求める意見書 賛成多数で可決

町長報告

- | | | |
|-----|-------------------------------|------|
| 報告1 | 平成19年度利根町一般会計繰越明許費について | 全員承認 |
| 報告2 | 平成19年度利根町公共下水道事業特別会計繰越明許費について | 全員承認 |

問 旧利根中学校校舎内の備品の整理について

答 教育委員会で有効活用と適正管理に努める **西村重之議員**

問 旧利根中学校校舎内の備品の整理の所管は？備品管理が杜撰ではないか。

答 校舎内の備品は教育委員会が所管。使用可能備品は原則現利根中に移動中。放置されていたトロフィや賞状等は現在現利根中に移動し管理している。今後も有効活用と適正管理に努めていく。

問 旧利根中学校閉鎖後の跡地の利活用について

答 利根町は都市計画法の網に掛かり、具体的な施策については都市計画マスタープラン見直しと用途地域の変更作業に入ったところである。来年3月までの予定で茨城県都市計画審議会において用途変更を認めてもらう手続きが終了後、始めて、旧利根中を始めとする町内の土地の高度利用を図ることができ、利根町再生のためのまちづくりが可能となる。

これらの情報を提供する段階で少し舌足らずであったことを認める。旧利根中跡地の利用を希望する相手から話をいただいた中から町の置かれている状況を勘案し、具体的な活用策を見いだしていく。

問 早尾台住民が振動や地下埋設物の老朽化に怯える103号線の改修工事について

答 改修区間790mで工事費約1億円。30年近く経過の地下埋設物〔雨水・汚水・上下水道〕の調査は実施していないが結果によって改修又は敷設換えの必要が出ると更に工事費が嵩み、財政状況が厳しい中で年次計画に位置付けることは大変厳しい。国の補助事業制度などの有効な手法を取り入れながら考えたい。下水道や雨水管に関しては補助制度がなかなか見つからないが更に検討する。

問 自主財源を確保する手だてはあるのか？

答 ……？

佐々木喜章議員

問 集中改革プランの追加版が5月にだされたが、21年度から公共料金等負担増をお願いする案が盛り込まれているが、住民に内容をきめ細かく説明し、対処するべきではないか！

また町有地を有効に活用し財源の確保につなげたい、としているが具体策は？

答 皆様に、よりわかりやすくお知らせするために、全世帯に配布している。集中改革プランを実施することにより歳出削減、歳入確保とあわせ、財政基盤の強化を図り、利根町再生につなげたい。町有地有効利用の件については、さらなる高度利用のための用途地域の変更をするため作業に着手したところです。一方遊休町有地は、原則売却する方針で処分を進めている。

問 行政改革の推進を考えるうえで、公共料金等の値上げを行わなければな

らない状況の中、旧利根中学校の跡地利用で、場外馬券売場を誘致し、複合施設としての機能を持たせ、地域のために有効に活用することが、一番効果的ではないか。また、災害時の緊急避難場所としても使用できるという事を考えても、現在旧利根中学校は、ガラスが割られ校舎内にも外部から侵入され荒らされたままになっている。これを放置することは、犯罪を引き起こすことにもなりかねない状態です。この状況をどのように考えているのか！

答 町有地の利用については、将来の自主財源の確保に大きな影響を及ぼすので、慎重に、かつ税源の確保が必ずできるような方向で考えていきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたい。

問 場外馬券売り場問題をなぜ放置したのか

答 行政としてはこの問題に関与していない **白旗 修議員**

問 昨年10月以来、7ヶ月以上、町執行部はこの問題の解決に向けて何もしていない。3月議会では、業者に企画書を督促したが業者から返事がないので説明できないと言っていたが、それは自らの職務怠慢を他人のせいにしてしているのではないか。

答 今なお事業者から資料の提供がないので、場外馬券売り場を誘致するとか、しないとかの話はできない。旧利根中跡地については、町の振興計画や都市計画の見直しのなかで、高度利用を図っていく。

問 昨年9月の定例会で、平成18年度の決算に基づく事業評価を庁内職員で行うと町長は答弁しているが、どのような方法で評価し、評価結果がどのようなになったか。

答 町の総合振興計画の第3期基本計画の調書を事業評価に使った。301事業のうち、継続事業は272、不採択は10、事業変更は19となった。

問 教育委員会には「心」があるのか
先日、1年以上も前に廃校になった旧利根中校舎を見学したが、中学校生徒やそ

のOBの汗と涙の結晶である多くの試合の賞状や楯やトロフィーが、埃にまみれて散乱していた。生徒たちの大切な青春の一ページをこのようにぞんざいに扱う人々には「人間の心」があるのだろうか。

答 大事な記念品等を粗末に扱ってしまったこと、およびそのような事態になっていたことをごく最近まで知らなかったことについて、管理責任者である教育委員会事務局は卒業生や保護者に大変申しわけなく、お詫び申し上げたい。今後は管理を万全にしたい。

問 前期高齢者の国保天引きも配慮不足でないか。

今、全国的に後期高齢者の医療保険制度が問題になっているが、前期高齢者に対する国保税の年金天引きも苦情が多い。反省すべき点はどこにあると思うかを伺いたい。

答 後期高齢者への制度改正の周知等に忙殺され、前期高齢者への周知が遅れてしまったこと、周知の回数が不足、案内を読んでもらう工夫が不足であったと反省している。

問 旧利根中に場外馬券売場誘致の考えは

答 現段階では用途変更が先だ **若泉昌寿議員**

問 旧利根中学校の跡地利用として現在場外馬券売り場と大型商業施設の2つが稼働したいとの話があるが特に場外馬券売場を誘致する考えはあるのか。また町長はこれまで町民に対して説明すると言っているがいつ説明するのか。

答 現在2つの施設が稼働したいとの話は来ている。利根町に来て稼働するには町としていろいろな手続をしなければならない。まずは土地の用途変更の作業、その作業が終って申し出があった事業所の中から町の置かれている財政事情等を考えて選り初めて誘致という言葉が出て誘致に踏み切る事になる。また商業施設の方は5月26日に計画書が提出されている。

問 町長2期目の出馬について
合併の町長として選ばれて早くも3ヶ年がたとうとしている21年7月で満期となるが再び町長として出馬する考えは。

答 現段階ではいろいろな問題を解決に向って努力しなければならない。確かに日時のたつのは早いもので毎日毎日が早く過ぎ去って行く中で行政の方の業務は思うように前に進んでくれない。しかし町は現在多くの問題が直面している。いろいろな課題、多くの問題を解決するため、見通しを確実にすることに今鋭意努力している毎日で町民18000人の暮らしを大事に考えていると言うことで今は来年7月に満期になる町長選挙の出馬に対しては考えていない。

問 教育委員会の業務と委員選任方法は

答 教育委員会の体制の充実強化を図る

五十嵐 辰 雄 議員

問 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成20年4月から、教育委員に保護者の選任が義務化された。定数5人のうち、2名欠員で、保護者の選任もせず、教育行政上重大な問題である。

答 今回法律の改正により、教育委員会の責任体制の明確化並びに充実強化が図られた。教育委員は、年齢、職業、性別を考慮し、教育、学術及び文化に識見を有するものを選任している。慣例により1地区に偏らないように、地区的なバランスを配慮している。

保護者の選任については、保護者から選ぶべき鋭意努力している。

問 地球温暖化、食糧価格の高騰、ごみの減量化、水質汚濁防止等の対策を立てなければならない。数値目標に向け

環境保全を図るためには、環境基本条例の制定が必要である。

答 環境基本法に規定してある国の施策に準じて、利根町の社会的、自然的条件を把握し基本理念を決定する。住み良いまちづくりに、町民の皆様と一緒に考え環境基本条例を制定していかなければならないと思う。

環境基本計画及び環境報告については、条例制定を前提に幅広く審議決定する。

問 美浦栄線バイパスの早期完成に努力しているか。工事が進捗しない原因は用地買収にあると思うが。

答 若草大橋から県道竜ヶ崎潮来線までの5.3キロメートル区間で、利根町区域の共有地の相続関係で用地買収が難航している。県ではこれまで以上に強化体制で進めている。

問 総合振興計画と施策との関連性は？

答 4事業を推進中だが自主財源が必要

高 木 博 文 議員

問 利根町の基本構想の見直しが3月議会で行われ、生産年齢人口の減少と、高齢人口と高齢者世帯の激増、町の基幹産業である農業従事者等の減少が明らかになったが、町の施策としてはどのように努力されているのかを伺いたい。

答 全国的に少子化と超高齢化が進行中だが、各種の子育て支援、生涯学習活動支援、乗合タクシー事業、成田線の利便性の向上、農業従事者の後継者作りなど、の施策を重視しているが、いずれも自主財源確保が必要とされている。

問 集中改革プランの「追加版」は、町の財政悪化を反映し、住民にさらに負担増を強いるものとなっているが、町や町長自らの努力はどうなっているのか。龍ヶ崎地方衛生組合や塵芥処理組合の談合入札問題への対処、町の公有地等

を特定団体への無償貸与など、住民の財産の適切な管理が行われているのか、今日の情勢等を踏まえ具体的に伺いたい。

答 龍ヶ崎地方衛生組合、塵芥処理組合とも基本的には談合入札に対して損害賠償を求めることを決定しており、引き続き管理者会議等で適切に対応して行く、又町の財産の管理ということでは、今日の情勢を踏まえて見直す方向で検討したい。

問 旧利根中跡地の有効活用は、「基本構想の見直し」と関連して検討すべきである。次世代への「負の遺産」となる場外馬券売り場でなく、住民のための多目的複合施設の活用が適当ではないか。

答 とにかく現在の「第一種中高層住居専用地域」から「商業地域」への用途地域の変更を行ってから跡地の利活用は検討したい。

問 人件費の削減は？

答 適正な定員管理を進めている

守谷 貞明 議員

問 再三催促しても8ヶ月間事業計画を出さないNRS(場外馬券売場業者)は不誠実・無責任であり、このような業者に利根中跡地利用を任せることは大変問題があると思うが如何か？

答 1つの企業を固有名詞で私は、どうのこうの議論できないですよ。

問 約7000人の場外馬券売場誘致反対の署名請願が集められたが、この住民の声を町長はどう受止めているか？

答 誘致に関して、私は何も申し上げていません。ただ情報を提供しただけで、この情報をもとに前もって判断し行動された請願であると考えています。

問 今年度の一般会計予算は48億5,582万円。人件費は13億675万円。この他、特別会計の人件費が9,700万円余り

あり、合計すると14億1,000万円で予算の29%、約3分の1が人件費に費やされ、財政悪化の元凶となっています。

そこで、利根町を第2の夕張にしないためにも、職員数を120人ぐらいに削減し、議員定数も10人に減らすなど、3年間で計画的に人件費を10億円台まで下げることが、今、何よりも大切です。町長は町の最高責任者として、職員や住民の生活を守り、安心して暮らせる町造りをする義務がありますがお考えは？

答 類似団体別職員数の状況を参考として比較すると人口1万人当りでは、全国平均よりも利根町は13.3人のマイナスです。集中改革プランの平成20年度目標よりも3名少ない156人となり、2年早く達成できました。

問 二期目の町長選挙出馬の意思は

答 一年先の出馬はまだ考えてない

高橋 一男 議員

問 ①場外馬券売り場誘致問題について、行政のトップである井原町長が決断できない最大の理由は。②廃校になった3校の校舎内にある備品が無造作に放置してあり、利用できる備品がある、住民からもつたいないと言う声が、校舎内の備品の処理について、③廃校になった3校すべて、このまま維持すると、維持管理費はいくらになるか。

答 ①行政として手続を先にすることが先決で、町の方針が決定していないのに誘致することはできない。②備品等については、統合時に使用可否を確認し、使用可能な備品は原則すべて統合後の学校へ移動する、使用されない備品は売却処分か希望があれば町民の方に払い下げなど検討する。③小学校2校の今後維持管理費は、教育委員会の予算に年間620

万円計上してある。

問 来年7月で任期満了に伴う町長選挙が行われる、本来であれば、1年前に辞職しているはずが、今だ町長の座に居座り続けている、私は納得できないが、次の点を伺う。来年7月の二期目の町長選挙に出馬する意思は、また、3月議会で町長不信任決議案が提出され、出席議員の4分の3には至らず否決されたが、13議員中、8議員が信任しないとしたこのことは重く受け止めなければならない、町長はどう受け止めているか。

答 財政問題も含め直面している課題を一つ一つに今鋭意努力している、1年先の出馬はまだ考えていない、また、不信任案については、議員から見れば可決されればよかったと思いがあがるが、私からすれば、少しは安堵した。

問 後期高齢者医療保険の窓口での対応は？

答 理解してもらうまで懇切丁寧に説明したい

能登 百合子 議員

問 4月1日スタートした後期高齢者医療制度は、2ヶ月を経過したばかりで廃止法案が参議院通過など、様々な問題が言われているが、実際の窓口での状況はいかがか。

答 4月当初は質問・問合わせ、制度への不満・批判・苦情等多数有り、この時期転入・転出・移動等による健康保険・年金の変更とも重なり窓口はかなり混雑した。

保険証が届かない等勘違いの分は解決と思う。新しい制度で広報紙、チラシ等説明はしているが、軽減措置等細かい数字になるので一人ひとり丁寧に、電話の受け答え、窓口に対して時間をかけての説明が一番の得策かと考えている。

問 子ども達に関する状況について

1. 学校統合により一部バス通学と

なった児童の様子はいかがか。

2. 学童クラブ（特に空き教室の無い布川小学校）と放課後子ども教室との状況はかなり差があるように思うが。

3. 食育教育の重要性が強く言われるこの頃、諸物価値上りのなか学校給食の安心安全の確保に給食費も値上げの状況か。

答 1. 布川小（押付本田全学年、フレッシュ・八幡台1年）23名、文間小46名がバス利用。一部地域の痴漢や不審者対応等毎日安全・安心に送迎している。

2. 児童クラブ、子ども教室連携をし総合的な放課後子ども対策を目指す。布川小の施設充実も進めたいと思う。

3. 自校調理方式、万全の注意で今まで食中毒の被害はない。出来る限り地元産を使うようにしたい。食材選定の工夫など現在の給食費を維持していきたい。

岩佐議長、県町村議会議長会会長に就任

当町議会議長である岩佐康三氏は、去る5月28日に開催された茨城県町村議会議長会の定例会において、同会の会長に選任されました。

岩佐議長は、利根町議会で6期を務め、地方議会人として多大の貢献をしてきたことが評価され、同会長に選任されました。任期は平成22年5月31日までの2年間の予定。

お知らせ

町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた討論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、町立図書館と役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。1ページ20円で複写サービスも行っています。図書館受付または議会事務局に申し出てください。

また、利根町のホームページでも見られます（検索エンジンで、「利根町」と入力）。

町議会を傍聴しましょう！

議場は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑をし、審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。今回、6月定例議会の傍聴者は延べ148名でした。

次回の定例議会は9月4日（木）から開催予定です。傍聴の予約は不要です。

「場外馬券売り場誘致中止・撤回請願」 7対6の賛成多数で採択

本定例会の最大の争点であった「場外馬券売り場誘致の中止・撤回を求める請願」（請願第5号・同6号、同内容のため一括審議）の審議は最終日に行われ、活発な賛否両論の応酬の末、賛成7、反対6の僅差で採択されました。

3月定例会では継続審議に

本事案は、最初に行く3月の総務常任委員会に審議を付託されました。同委員会では、3月時点では場外馬券売り場を核とする旧利根中跡地利用の事業計画の検討が不十分との理由等により、継続審議にすべしとの報告がなされ、3月定例会では、この報告に基づき継続審議になりました。

先立つ6月の総務常任委員会では不採択

3月定例会後、全議員に対する事業内容の説明、全議員参加による同種施設・バオ一高崎の視察等を経て、総務常任委員会で6月に再度審議されました。

この委員会では、事業計画により①請願者が危惧する問題は十分予防できる、②財政面での相当の寄与が期待できる、との意見が多数を占め、請願は不採択となりました。

本定例会では大論戦の末、賛否が逆転

本定例会では、11人の議員が賛否両論を激しく戦わした上で、採決となりましたが、請願の採択が決まりました。下記の請願賛否双方の議員の討論（概要）をぜひご覧ください。
〔発言順に記載〕

誤った通念と現実無視に基づく請願に反対！

白旗 修 議員

根拠のない誘致反対理由

場外馬券売り場誘致反対請願書には、生活環境の悪化と町のイメージダウンが反対理由に挙げられている。しかし、これらはいずれもギャンブルは悪、賭けをする人は、一攫千金を夢見る怠惰な人、時には社会秩序を乱す人、ギャンブル施設は迷惑施設というこれまでのワン・パターンの社会通念や差別的な人間観に基づく根拠のない理由である。少なくとも事業計画がしっかり実施される限り、反対者の言うことは杞憂に過ぎない。

事実確認のないまま先行した誘致反対署名

誘致反対の署名と請願が議会に提出されたのは2月初旬であるが、この時期は事業内容について誰も知らない時期である。

このような時期に請願署名の発起人も、これに賛同した紹介議員も何を根拠に署名活動を始めたのだろうか。誤った社会通念、差別的な人間観のみで署名を集めたのではないか。そうであれば、この請願の発起人も紹介議員も軽率のそしりをまぬがれない。

また、全体からみてごく少数の例外的、個人的な過去の悪い事例を挙げて、あたかも頻繁に起きる問題のように住民に喧伝することは許されることではない。

財政問題を無視した誘致反対論

場外馬券売り場誘致の事案は町の財政問題の一つとして提出されたものである。誘致反対請願は、ギャンブル性悪説を根拠に出された反対論であり、町の財政問題はまったく考慮していない。請願理由に根拠がなく、財政問題についての何らかの提案がない本件を採択する理由は何もない。したがって、この請願の採択には反対する。

誘致反対請願署名採択に賛成

守谷 貞明 議員

設置環境について

場外馬券売場「オフトひたちなか」の場合、住民からの苦情や青少年への悪影響、交通渋滞等の問題は殆ど無い。故に利根町に誘致しても心配ないと、賛成派は言っている。しかし、市街地から8キロも離れ、へんぴな場所にある施設と町の中心部で周辺に大型住宅地や保育園、幼稚園がある利根中跡地のキャンブル施設を同列に論ずることは無意味である。

予想される問題点

1 交通渋滞の拡大と騒音・大気汚染による生活環境の悪化が心配される。

2 **青少年への悪影響**。1991年大阪府警の発表では市内3ヶ所の場外馬券売場で5ヶ月間に685人の未成年者が補導された。利根町と設置環境が似ている、市街地にある「バオー高崎」を管轄する群馬県警の担当者は、「入場者の全てを見分けることは出来ない。未成年者や暴力団の入場を完全に防止できない以上、何かが起こる懸念は常にあると思う。」と言っていました。

財政再建について

誘致賛成派は、7千万円の協力金が10年間固定金額として入ると言っているが業者（NRS）から、正式な事業計画書は未だ出されていない。この金額が保証される確証は無い。利根町よりも後背地人口の多いバオー高崎の年間売り上げは31億円。もし同じ程度ならば協力金は3千万円前後になります。利根町の財政赤字は毎年約5億数千万円あり、財政再建の切り札とはならない。よって私は場外馬券売場誘致撤回、中止を求める請願の採択に賛成します。

請願に反対 町の財源を確保のため必要な施設

若泉 昌寿 議員

現在の利根町は大変財政が厳しい。このままでは2～3年後には財政破綻になるおそれが十分にある。この度の日本レーシングサービス（場外馬券売り場）が利根町の旧利根中学校に來たいとの話があり、町も誘致したい考えである。場外馬券売り場を誘致すれば、年間約7000万円前後の収入が入ってくるからである。

しかし、それに対して、一部の議員、住民から場外馬券売り場誘致に反対する請願が議会に提出された。反対する議員の理由は、治安、交通渋滞、教育問題、水と緑がなくなるなどだが、視察・調査した結果、これらの心配はほとんどない。町民18000人が安心してくらせる町を作るには、何としても町の財源を確保しなければならない。それには、まず足がかりとして旧利根中に場外馬券売り場を誘致することが第一だ。

反対する議員は、場外馬券売り場に代わる収入は今のところ何も考えていない。しかし、行政は何としても場外馬券売り場を誘致して安定した財源を確保し、さらに今後も引き続き努力しなければならない。

だから、私は場外馬券売り場誘致に賛成し、請願の採択に反対する。

請願採択に賛成

能登 百合子 議員

請願の主旨は

この請願は、去る11月30日、12月1日の両日、町内4会場で実施された町主催地区懇談会の席上、また12月定例議会一般質問の答弁で、旧利根中跡地利用申し入れがあったと町長が報告された事実をもとに、この利根町にそのような施設（場外馬券売場）は欲しくない。誘致しないでくれという住民の意思が届いたもの。

考え方は

日本全国から人を呼ぶ観光施設はない。金も人もふんだんに入ってくる優良企業もない。何もない利根町と言われるが、眺めているだけで心がいやされる豊かな自然と、平凡な中であっても生きていく上での様々な問題・困難を乗り越えてきた人と人のつながりがこそが利根町の一番の財産。その財産を自分の手で損なってはならない。

目先の問題で（違う意見を）お互いに非難し合う状況からは利根町の将来は明るいものとはならない。

一般的に命を産み出し、育む性である女性は争いを好まないが、これだけはやめてといい、ギャンブルにける利根町を選ぶか、大地に根を張った生活を、生き方を選ぶか。まさに生きる意義がかかっている問題。

町の状況、そこに暮らす住民の意思、それらを十分に考え判断し、議会としての結論を出す。それが約6700人を超す住民に託された請願に対する答。例えそれが自分の意志と違う答であっても住民の代表としての判断に露ほどの疑念もないと信じ、そういう結論を出すべく、私は賛成の立場での討論とする。

請願に反対 利根町歳入確保の足掛かりのチャンス

西村 重之 議員

生徒数減で平成16年9月に中学校統合検討委員会発足。平成19年度スタートで決定。昨年後半に旧利根中利活用の動きがあるもこの間、何ら行動しなかった行政に大きな問題がある事は言うまでもない。又、合併が壊れた時点においても町の財政が非常に厳しい状況が続く予算も組めなくなる状況にも拘らず手段を講じてこなかった事が現在の問題を引き起こした事に繋がったと考える。

昨年開催された「地区懇談会」で町長から、①旧利根中利活用として「大型商業施設・売却」と「場外馬券売り場・賃貸」の申し入れを発表。住民に説明、意向を聞いて決定したいと答弁。住民説明の前に請願が出された事が一つの問題と考える。②請願の中に交通渋滞の予想等が危惧されているが、色々な問題点について住民の意向を組み入れ関係者と話し合い住民の不安を取り除くことが可能。

現在の利根町には企業誘致出来る状況にない。これまで旧利根中利活用の申し入れは、①大型商業施設はスーパーマーケットを中心に計画、町内商業との諸事情を察すると問題点多く難しい。②場外馬券売り場は総合施設として計画され住民の意向を取り入れ有効利用が確認済み。施工費用は全て業者負担で利根町の出費はゼロ。現時点で5～7千万円が長期にわたり歳入計上出来、又、近隣自治会等に協力金が支払われ、避難場所として利用条件が含まれる。利根町集中改革プラン追加版で、平成21年度に都市計画税・一般廃棄物処理手数料・公共施設使用料・保育料等の見直しで住民負担となる。住民負担の軽減を考える議員が多いが今案件は第一歩である。歳入増と歳出減に更なる努力が必要であり、この機会を逃せば少なからずも住民の負担増に繋がる。利根町・議会・住民誰もが財源が欲しい、負担を軽減したい気持ちでいっぱい。これらを考え合わせ是非欲しい案件であり私は「請願」に対し反対。

場外馬券売り場建設に反対**今井 利和 議員**

売上高を伸ばしてきた地方競馬も、平成3年の9862億円をピークに減少に歯止めがかからず、平成17年度には3691億円とピーク時の37.4%と売上高は大幅に落ち込んでいます。累積赤字解消の見込がないことから、10年間中津、三条、足利、上山、高崎、宇都宮競馬場等が廃止されています。収益を自治体の財政に充てるといふ本来の目的とは逆に地方競馬は自治体の財政を圧迫するという状況が続いています。大幅に人気も売上高も下落している、場外馬券売り場をつくる必要性は全く感じません。我々議員はバオー高崎場外馬券売場を視察してきました。説明によると、従業員は7人、販売委託6人、臨時20人、売上高年33億との事、馬券発売所へ案内され、月曜の12時40分頃、ファンは150名位、大半の人が年金暮らしの高齢者、若人がいない状況。3～5千円で1日を楽しんでいるとの事。メインレースでは交通渋滞を招き、住民に迷惑をかけているとの事、私は多数の地元雇用のできる優良な企業誘致をすることを念願している者です。中学校跡地付近は住宅、幼稚園、保育園、小学校、医院があり、この地域の風紀が乱れることは、町全体に悪影響を与えます。渋滞によりFT、NTへの迂回車が多くなり、子供達の安全は脅かされ近隣の店舗売上高も減少します。学校の敷地なので安価で協力してくれた地主さん、労働奉仕をして校庭をつくった父兄の思い出の土地、道路環境、生活環境、何よりも子供達への教育環境の悪化を代償にするにはほど遠い計画である。

私は場外馬券建設には反対いたします。

請願に反対 署名活動のしかたに問題が？**佐々木 喜章 議員**

今般の請願の趣旨は、場外発売所の誘致の中止、撤回を求めるとあるが、町長始め町当局が誘致を決めた、あるいは誘致を画策しているとの事実や発表はなく、事業者側からも、今日まで計画書など正式な提出がない中で行なわれた『署名活動』自体が単なる憶測に基づいた行為であり、請願そのものが、そもそもの外れである。

請願という行為は確かに法律で認められた行為ではあるが、今回なぜこのように町や議会を混乱させるような事態に至ったか。それは、十分な議論や説明がない中でいたずらに署名が集められた行為、そのものに起因する。

現に某議員は、自らの立場を利用し議会報告紙に、事実無根の記事を掲載し町民に混乱をもたらした、として住民から政治倫理制についての審査請求を受け、本会議では、議会あるいは議員の立場を著しく失墜させたとして、利根町初の問責決議が可決されました。

今回の騒動は、町の政治に混乱や停滞を招くこととなり議会議員として後々に必ず責任問題が生じるものと思われる。

今後、様々な事業誘致について十分な検討がされるべきであると共に、町長の考え方を聞いて、議会議員がチェックするという本来の使命を正し、機能させていく事が望まれる。

混乱の中で、署名を撤回したい、町財政の為に、本気で考えてほしい、という多くの住民の意思に耳を傾ける事も大切である。このような事から、今回の請願は一度リセットすることが、多くの住民の利益につながると考える。

請願は国民の基本的な権利、住民の要望を反映し速やかに採択を！

高木 博文 議員

請願は、憲法や自治法が定めた国民の基本的な権利であり、住民の要望を行政等に反映するために、何時、だれが行っても、議会はこれに対応する責任がある。町長が町政懇談会や議会で発言して来た経過からも、請願署名は適切な時期に取り組み、提出された。総務常任委員会が休会中調査を行ったことは、私たちの主張の正しさを証明した。請願署名は、場外馬券売り場誘致賛成の人達がNRSの立場に立ち、住民に誤った噂を流していることを阻止するためにも取り組まれた。誘致反対の具体的な理由は、①子どもたちの安全を守るためであり、馬券売り場誘致により、千葉～龍ヶ崎線は1900台の交通量増となり、交通渋滞と、交通事故が心配。②身近にギャンブル施設があれば大人はもとより、子どもたちにも「額に汗して働くよりも、ギャンブルによる一攫千金」の悪影響がもたらされる。③交通渋滞を回避するための住宅地への迂回、排気ガス、消防署の緊急車両の出入りの停滞等町民の生活環境の悪化。④町への収入として期待される協力金等は売上が直接影響するが、競馬の現状は長期低落傾向が改善されず、主催自治体は軒並み赤字で、利根町の交通アクセスから見てもNRSの見込みは過大で、安定した高額の財源とはならない。オフトヒたちなかを視察した人達が問題ないとした請願趣旨は、旧利根中跡地の立地条件を考えると何ひとつ払拭されず、これは否定できない事実として残っている。また、国や県の姿勢からも許可できない条件に有る。跡地は住民のための総合多目的複合施設の活用が望まれる。請願の速やかな採択を議員各位に求めたい。

請願に反対 自主財源の確保が急務

飯田 勲 議員

— 公債比率から見て —

利根町の財政状況を公債比率で見ますと平成18年度決算で15.2%です。公債比率とは借金返済に収入の何%を使うかですが、平成11年度地方債の残高は54億8千万円で公債比率が約11%でした。以後着実に返済して平成20年度末の地方債残高の見込みは約40億7千万円で14億円位少なくなりました。にもかかわらず比率は4%位上昇しています。これは収入の減少が激しいからです。三位一体改革の下地方交付税は平成11年度20億5千万円ありましたが平成20年度は14億4千万円で6億1千万円の減、町税は同じ期間に1億7千万円減です。利根町最大の収入源であります地方交付税と町税が10年間で7億7千万円減少しています。これが公債比率を上昇させ比率が15%を超えると財政硬直化と呼ばれこれに比例するように経常経費比率が99%台の異状な状況です。

— 耐震化出来なかった布川小 —

今年4月布川小学校と太子堂小学校が統合され太子堂小学校舎が利根町立布川小学校の名称で使われています。統合は生徒の減少等諸般の状況に依るものでしょうが布川小学校が耐震化出来ない理由で廃校されたのは寂しい限りです。

耐震化の財政措置が出来たなら長い歴史と伝統と共に、多くの町民の古里であります布川小学校が現在も桜の花が咲誇り子供達の歓声響く学舎として使用されていたと確信しています。

財政が厳しい利根町は自主財源の確保が急務であります。依って請願第5号と6号に反対を表明します。

場外馬券売り場誘致には反対・請願に賛成**中野 敬江司 議員**

私は旧利根中学校跡地に場外馬券売り場誘致の中止・撤回を求める請願に賛成します。

請願は3月定例議会に提出されたものです。

この請願の趣旨は地域に迷惑がかかるような馬券売り場を誘致するな、つくってほしくないという町民の強い思い、6700名の思いがあって請願として提出された。私はこの請願を真摯に受け止めて、採択は3月定例議会の場において行うべきと一貫して主張をしてきたが、残念ながら、延ばし、延ばしによって今日の採択になった。

「馬券購入」は高齢者が大方

私は、5月12日、NRS社が経営する群馬県高崎市の場外馬券売り場を視察した。会社の説明では中央、地方競馬の年間開催日は341日、馬券を購入する人は中央競馬のときは若者もいるが、地方競馬は高齢者が大方とのことだ。

そこで、反対の理由は一つに国民年金、厚生年金などで生活をしている高齢者が馬券を買うことになると推察される。

また、競馬の開催は昼間だけでなく大井競馬場ではナイトも開催される。営業時間は午前10時頃から午後9時頃までとなり、生活環境などが脅かされる。平和な安定した生活が破壊され、家庭崩壊にもつながる。このような馬券売り場の誘致には反対だ。

請願に反対 住民に不安を与える署名活動**高橋 一男 議員**

利根町は財源不足で、2年後は予算が組めない、このままでは利根町住民1世帯当たり年間10万円負担増になる、そのためには徹底した無駄をなくす、特に特別職である町長や教育長の給料の大幅な減額、議員の定数削減と報酬減額、さらに職員の給料減額など徹底した人件費の削減を行うことが前提である。同時に歳入確保する、その1つとして場外馬券売り場や複合施設、町有財産の売却等あらゆる歳入確保を図った上で、住民負担をできるだけ軽減するよう努力しなければならない。

利根町の財政破綻を避けるため、場外馬券売り場誘致は町の活性化の一つの起爆剤である。この請願書の署名活動にまず問題がある、一部住民グループや反対派議員などは、デメリットの部分のみを強調し、悪いイメージだけを植え付け、住民に不安を与え署名活動をして来た。町の財政を考えた上で場外馬券売り場誘致に反対するのであれば、歳入確保できる対案を出すべきではないか。反対派議員は、今は対案はないと言う、あまりにも無責任である、また、反対派の一議員は、自らの議会活動報告の中で、虚偽を記載して住民の公平、公正な判断を阻害し反対活動を行った、この問題は一部住民グループから利根町政治倫理審査会に審査請求が出され、議会では、問責決議案が賛成多数で可決した。議会人として、住民が納得できる責任の取り方を求めたい。

以上のことから場外馬券売り場の誘致の中止、撤回を求める請願に反対する。

利根町議会日誌

(平成20年5・6・7月)

平成20年7月30日現在

月	日	曜日	行事(行事、場所を記載、自明の事項は省略)
5	10	土	平成20年度利根町PTA連絡協議会総会
	12	月	BAOO高崎視察研修会
	14	水	利根町立小中学校視察
	"	"	利根町教育懇談会
	19	月	平成20年度茨城空港利用促進等協議会総会 水戸市
	20	火	第33回町村議会議長・副議長研修会 東京港区
	"	"	平成20年度利根町遺族会総会
	21	水	平成20年度利根地固め唄保存会総会
	"	"	平成20年度老人クラブ連合会総会
	"	"	平成20年度取手地区防犯協会総会
	22	木	平成20年度利根町商工会通常総会
	23	金	霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟平成20年度総会 石岡市
	26	月	平成20年度つくば農業改良推進協議会総会 守谷市
	28	水	大阪府泉北郡忠岡町議会行政視察来庁
28	水	平成20年第2回定例会(町村議会議長会議)	
6	2	月	総務常任委員会
	3	火	国保連合横領事件への対応等説明会 水戸市
	4	水	龍ヶ崎地方衛生組合全員協議会
	6	金	平成20年度第2回定例会(16日まで)
	"	"	本会議
	9	月	一般質問
	10	火	一般質問
	12	木	本会議
	13	金	全員協議会
	16	月	本会議
	20	金	北方領土の返還を求める茨城県民協議会 水戸市
	"	"	取手地区交通安全協会利根支部総会
	21	土	利根町遺族会靖国神社昇殿参拝
	23	月	茨城県後期高齢者医療広域連合との打合せ
30	月	茨城県総合計画審議会 茨城県災害対策室	
7	1	火	茨城県市町村振興協会理事就任の承諾並びに平成20年第3回理事会 水戸市
	2	水	平成20年度霞ヶ浦常南流域下水道整備促進協議会総会 全員協議会室
	3	木	茨城県国民健康保険運営協議会会長会平成20年第2回理事会 水戸市
	"	"	利根地区法人会平成20年度通常総会開催について
	"	"	宮城県涌谷町行政視察研修
	7	月	2008年原水爆禁止国民平和大行進
	8	火	稲敷広域組合議会による行政視察研修 視察先：群馬県吾妻広域町村圏振興整備組合、
	"	"	埼玉県比企広域市町村圏組合 会田議員 9日まで
	10	木	取手・守谷・利根地域医療協議会総会 取手保健センター
	12	土	平成20年度利根町PTA連絡協議会指導者研修会 利根町公民館
	13	日	利根町テニス大会 上曾根運動公園
	14	月	関東各都県町村議会議長会会長会議 千葉県南房総市富浦
	"	"	議長、事務局長出席 15日まで
	18	金	平成20年度我孫子市・利根町まちづくり協議会総会
	"	"	稲敷広域事務組協議会臨時会・全員協議会
"	"	利根町・河内町議会交流会	
23	水	平成20年第2回広域連合議会定例会事前説明会 つくば市役所桜庁舎	
24	木	都道府県会長会及び関連会議 全国町村議員会館	
29	火	第58回社会を明るくする運動取手地区大会 利根町公民館	